

# 湖南高校だより

島湖等信  
福立高校  
発行責任者 吉田 浩美  
校長 吉田 浩美

## スマホ・ケータイ安全教室

六月九日(木)、株式会社KDDI様をお願いをして「スマホ・ケータイ安全教室」を実施し、高校生に起こりやすいトラブル事例とその防止策や対処法を学びました。



スマホ・ケータイ安全教室の様子

## 生徒の感想①

私は、中二のときにスマホを買ってもらい、高校入学後、家庭内ルールを作り、フィルタリングの設定をしました。フィルタリングの設定により、今までと同じように使えなくなり、不便さを感じていました。しかし、今回の教室で、改めて、自分の身を守るために大切であることが分かりました。家庭内ルールについても、再度、家族と話し合い、適切なルールにしていきたいと思っております。(一年A組のある生徒)

## 生徒の感想②

今回の教室を通して、改めて、様々なことを学びました。文字では気持ちには伝わりにくく、相手の気持ちを考えなければならぬということ。やっぱり、大事なことは文字より言葉で伝えたい方がいいと思います。また、軽い気持ちでアップした画像や写真であっても、一生消えないということ。スマホはとても便利で、これから手放せないツールになっていくと思います。その反面、危険なことも多いので、しっかりと考えて使っていきたいと思っております。(一年A組のある生徒)

## 進路行事

いよいよ、七月一日の求人票公開が近づいてきました。三年生は、進路活動が本格的に始まりです。本校では、進路実現百パーセントを目指し、体系的にキャリア教育を進めているところで、六月二十二日には、進路希望者に対するガイダンスが実施されました。その様子と今後の日程をご覧ください。



進学者ガイダンスの様子

＜進路関係今後の日程＞

7月 1日 (金)	求人票公開
7月 4日 (月)	就職者ガイダンス
7月 8日 (金)	就職者ガイダンス
7月 19日 (火)	就職者ガイダンス
7月 21日 (木) ~	会社見学、オープンキャンパス参加、AO入試エントリー等
7月 22日 (金) ~	夏季課外開始
8月 5日 (金)	就職者ガイダンス
8月 22日 (月) ~	就職指導開始
9月 16日 (金) ~	就職試験開始

## ポート部

六月の初めに行われたインターハイ県大会で二位となり、全国大会出場を逃してしまつた吉田君ですが、先日行われた東北選権大会では、昨年の十月の東北選権大会に続いて二位となり、七月中旬の東北総合体育大会へ向けて弾みをつけました。この大会で二位以内に入れば、岩手国体へ出場となります。



東北二位となった吉田君 (湖南中出身)

# 学校スローガン「可能性の発見、自分に挑戦、夢を形に」



皆さん、「究極の不幸」って言われたら、どんなことを思い浮かべますか？

皆さん、「究極の不幸」って言われたら、どんなことを思い浮かべますか？人それぞれに異なると思いますが、きつと、取り返しのつかないものを失うことという点では一致しているのではないのでしょうか。最愛の人の死も、その一つでしょう。しかし、その不幸を防ぐにしても、他者の死は自分ではどうすることもできません。では、自分の死？いや、死が訪れた時には意識はないのですから、不幸という感覚も湧いてはこないでしょう。きつと、自分の死が間近に迫った時に、それまでの人生を後悔するのだと思うのです。アメリカでこんなアンケート

トがありました。「九〇年の人生を振り返って、最も後悔していることは何ですか？」この質問に対し、なんと九〇%の人が同じ回答をしました。「もつと冒険をしておけばよかった」と。言い換えれば、もつと人生の節目目録で、いろんなことに挑戦しておけばよかったと、九〇歳の老人が嘆いているのです。私も人生の折り返し地点は、もうだいぶ前に通過してしまつたと思うのですが、田村郡の山間の町で育つた幼い頃には、「冒険家になりたい」という夢を持っていました。「探検ごっこ」と称し、自転車ですら出し、洞窟で野営を企て、川をのぼり里山に分け入り、道に迷い見たこともない隣の風景に出くわし、ヒッチハイクで生還したり、そのドキドキ感を楽しんでいた時期がありました。しかし、大人になるにつれ、そんな無邪気な「冒険心」は消え失せ、挑戦を拒み、「そんなの無理」が口癖のつまらない人間になっていきました。でも今、「あの時、あれに挑戦しておけばよかった」と思うことが沢山あります。そしてこれまでの自分の人生を心から悔いていません。ではなぜ、その時、

挑戦しなかったのか。答えは簡単です。「勇気がなかった」からです。心の中では「あんなことをしてみたい」とは思いつつも、そのためには今の自分を大きく変えなければならぬ。環境が変わるのは不安だし、今までの努力が求められるし、努力したところで、それが達成できるといっても保証もない。できなかったらプライドが傷つくし、変わりたいけど変わるのには怖い。だったらやっぱり、このままの自分であることの方が楽だ。結局、意気地なさや怠惰が合わさって、いつもそんな選択をしつづけてきたのです。そのせいで、現状には不満だらけ。本当は冒険する勇気がなくて自分が変われないのに、それをいつも誰かの責任に転嫁してきたのです。こんな情けない人生を歩んでみたいと思いませんか。思い起こせば、私の憧れだった冒険家の植村直己さんは、生前、こんなふうに語っていました。「冒険家は臆病でなければならぬ。自分の力を過信せず、自分にはできそうもない。だからこそ、十分な事前のトレーニングと準備を怠らざ、目標地点までの険しい道も、焦ることなく、遠回りしてゆつくりと歩んでゆく。そんな人物でなければ冒険は成功しない」と。実際、植村さんは、山でコロナとよく転ぶことから「ドングリ」とあだ名され本人自身強い劣等感を抱いていました。しかし、植村さんは、その劣等感を原動力にして、人一倍の努力を積み重ねてきたのです。植村さんは続けます。「僕らが子どもの頃、目に映る世界はいつも新鮮で、すべてが新しくなりました。やりたいことは何でもできた。ところが年をとってくると、人々はあきらめ、みんな落ち着いてしまふ。世界的美しさを見ようとしなくなってしまう。大部分の人は夢を失っていくんだよ。でも僕はいつまでも子どもの心を持って、この世を生きて失わずに、この世を生きようと思う。…いいかい君たちはやろうと思えば何でもできる。」と。そうなんです！湖南高校生の皆さんも、今なら何だってできるんです(ついでながら、まだこの私に館の壁に貼ってある学校スローガンをみて、そう強く確信しました。「可能性の発見、自分に挑戦、夢を形に」(熊谷明彦・二年B組副担任)

### 学習時間調査結果

一学期中間考査期間十日間の学習時間調査結果です。

時間	15.97時間
1A	17.43時間
2A	15.63時間
3A	15.63時間
1B	17.43時間
2B	15.63時間
3B	15.63時間
1C	17.43時間
2C	15.63時間
3C	15.63時間
1D	17.43時間
2D	15.63時間
3D	15.63時間
1E	17.43時間
2E	15.63時間
3E	15.63時間
1F	17.43時間
2F	15.63時間
3F	15.63時間
1G	17.43時間
2G	15.63時間
3G	15.63時間
1H	17.43時間
2H	15.63時間
3H	15.63時間
1I	17.43時間
2I	15.63時間
3I	15.63時間
1J	17.43時間
2J	15.63時間
3J	15.63時間
1K	17.43時間
2K	15.63時間
3K	15.63時間
1L	17.43時間
2L	15.63時間
3L	15.63時間
1M	17.43時間
2M	15.63時間
3M	15.63時間
1N	17.43時間
2N	15.63時間
3N	15.63時間
1O	17.43時間
2O	15.63時間
3O	15.63時間
1P	17.43時間
2P	15.63時間
3P	15.63時間
1Q	17.43時間
2Q	15.63時間
3Q	15.63時間
1R	17.43時間
2R	15.63時間
3R	15.63時間
1S	17.43時間
2S	15.63時間
3S	15.63時間
1T	17.43時間
2T	15.63時間
3T	15.63時間
1U	17.43時間
2U	15.63時間
3U	15.63時間
1V	17.43時間
2V	15.63時間
3V	15.63時間
1W	17.43時間
2W	15.63時間
3W	15.63時間
1X	17.43時間
2X	15.63時間
3X	15.63時間
1Y	17.43時間
2Y	15.63時間
3Y	15.63時間
1Z	17.43時間
2Z	15.63時間
3Z	15.63時間

### 《克己心》

もうすぐ七月。早いもので一学期もあと三週間余りとなってしまいました。ところで、皆さんは社会生活に必要な「あたりまえ」なことを「あたりまえ」にできていますか。人の迷惑も考えず、その場のノリや軽い考えで行動してしまい、大きな失敗をしてしまう。よく聞く話です。人は大きな石にはつまみかず、小さな石につまみずくものです。些細なことでも真剣に取り組んでください。